

小規模多機能型居宅介護 和が家「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 パートナーステーション	代表者	小原 陽一	法人・ 事業所 の特徴	高齢者が慣れ親しんだ地域での生活が継続できるよう、人と人が助け合い、1日1日が高齢者の生活にとって質・量ともに適切な支援が受けられ、また個人の尊厳ある生活が確保されていくことを目指します。 自然豊かな春光台に位置する地域性を活かし、毎日の生活の中で自然を感じながら、優しく穏やかな時間が共有できるよう共に過ごして行きたいと考えます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 和が家	管理者	堀 咲子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	2人	2人	1人	人	1人	人	5人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	次回自己評価時も継続し意見の聴取を行う	運営推進会議にて出席者の方々に意見の聴き取りを行った。	事業所常勤職員及び時間契約職員においても自己評価に取組み意見を聴取できている	前回同様、継続して聴取を行う
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所職員に入社時、毎会議時に避難場所の鍵の開錠が行えるかを確認する	定期的に建物の確認や避難訓練、説明を行っている。	地域の方は良く知っているのでわかりやすい。事業所は施錠はされておらず、臭いも気にならない。	職員の入社時や会議で施錠についての説明や確認、環境についての確認を行っていく
C. 事業所と地域のかかわり	町内の催しや地域の関わりは多く、今後も継続していくこと	地域の催し等には参加し、地域の方々と関りを持っている。	挨拶など非常に良い、事業所のスタッフも地域の行事やイベントに参加されているのを確認しています。	地域の行事やイベントの参加は継続していく。地域の方々が気軽に来られるように明るい挨拶や入りやすい雰囲気作りに努める
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	町内サークル活動の内容を確認し、本人の意向を尊重しながら参加できるよう支援する	一部の利用者様は週1回のサークルに参加している。	地域との関わりをもっていると伝わっている、閉鎖的には感じない。	前回同様、継続して町内の活動に本人の意向を尊重しながら支援していく
E. 運営推進会議を活かした取組み	今後も2カ月に1回の運営推進会議を通じ、事業所報告、登録者及び職員と地域の皆様との情報共有に努める	毎回、事業所の状況報告を行い、登録者様にも参加していただくことで地域の方々とも情報共有ができた。	2ヶ月に1回の開催は継続されており、資料も毎回わかりやすく作られている。	前回同様、継続して情報共有に努めていく
F. 事業所の防災・災害対策	今後も地域住民の協力を仰ぎながら、避難訓練の実施を行っていく	年2回の避難訓練に地域の方々にも見て頂き、意見をいただいている。	年2回の避難訓練、内1回は夜間想定とされており、地域住民も緊急時には協力をします。代表者も地域の防災活動に参加している。	今後も継続し、地域の協力を得ながら実施していく

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年10月27日～10月31日
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	堀 (管理者) 庄司 (副リーダー) 寺下 (看護) 後藤 (計画) 武田、菅原、渡部、下川原、大島、別所、加藤 合計11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	人	人	11人

前回の改善計画	日々の関わりの中で身体拘束、虐待、プライバシーの配慮などについて全体会議など定期的に情報交換の場をもつ。管理者、リーダー職は個人情報を含め利用契約時の内容を全職員が把握できるよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1人	9人	1人		11人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2人	9人			11人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2人	9人			11人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1人	10人			11人

できている点	家族様と情報交換の場を設け、現在の状態や取り組み、今後どう支援していくか相談している。利用前に個人情報資料が回覧されるので目を通す。資料だけでは不明点は管理者、リーダーに確認をとる。利用開始前に得た情報や留意点などミーティングで話合っている。また定期的な全体会議で情報交換できている。情報共有はできている。
--------	---

できていない点	通い時の送迎時間が家族様と連絡調整が生じる事がある。細かな連絡不足。情報収集ができていない。情報収集の時間がとれていない。家族様との話す機会がなかなか持つことができていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	管理者、リーダー職は利用者契約時や情報を全職員に把握できるように努める。申し送りや全体会議で情報共有を継続していく。利用者様が安心して利用できるまで関わりを多くもつようにし良い関係作りに努める。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年10月27日～10月31日

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

メンバー 堀(管理者) 庄司(副リーダー) 寺下(看護) 後藤(計画) 武田、菅原、渡部、下川原、大島、別所、加藤 合計11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	5人	人	11人

前回の改善計画	各職員が本人の目標となるケアプランの内容を理解し、支援の実施及び日々の報告などを継続していく。ケアプランの確認を必須とし、実施時の報告、改善点を申し送り、カンファレンスの内容に反映していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		6人	5人		11人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6人	5人		11人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		7人	4人		11人
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1人	7人	3人		11人

できている点	毎日の申し送りにて日々の報告、変更、改善を申し送っている。 ミーティング、全体会議等で知り得たことに対しては良くできている。 本人のやりたいこと、したいことを引き出せるよう務めている。 日々の関わりの中から何を望んでいるのか心の声をくみ取るよう努めている。 毎日の申し送りにおいて実践した事を都度話し合いよりよき支援に努めている。 ケアプランは必ず目を通しその方の目標に合わせ接する様こころがけた。
--------	--

できていない点	一部の職員しかケアプランの内容を確認目を通すことが出来ていないため内容の理解ができていない。 (理由) 一部の職員のみで介護記録の記入をしておりケアプランに目を通す機会がほとんどない。 (理由) ケアプランの存在を知らない職員がいる。教える側が伝えていない。 本人の目標がどこにあるのか見えてこない。 (理由) 全職員が本人の目標を共有できていないため。 個人のかかわりよりもグループでのかかわりが多かったためできていないことがあった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	前回同様、ご利用者様ひとり一人のケアプランの内容を確認し理解できるよう努めていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年10月27日～10月31日

3. 日常生活の支援

メンバー 堀（管理者）庄司（副リーダー）寺下（看護）後藤（計画）
武田、菅原、渡部、下川原、大島、別所、加藤 合計11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	人	6人	5人	人	11人

前回の改善計画	生活歴、既往歴を申し送りされても把握しきれていなく、職員個人の時間で個人情報を閲覧・情報収集の時間を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		3人	6人	2人	11人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2人	9人			11人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		5人	6人		11人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	1人	10人			11人
⑤ 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？		8人	3人		11人

できている点	本人様の体調に変化に合わせた対応を行っている。 個人情報は何度か再確認するようにしています、その時に変化があれば他者にも伝達する様にしている。 日々の支援のなかで気づいた事は、朝のミーティング時に話し合い他スタッフとも情報の共有に努めている。 ミーティング時に話し合いが持たれ介護方法等については良くできている その都度本人の状況に合わせた支援ができるようミーティングなどで共有している
--------	---

できていない点	伝達が滞り、言語化共有できていない。 本人の状況を家族様から聞き取ることが出来ない。（理由）本人の状況について家族様も把握されていない事が多い。 情報の収集は会議をしても申し送りでズレが生じる。話し合う時間がとれていない。 生活歴が見えてこない、業務多忙のためか個人情報が閲覧する時間がとりにくい。 以前の暮らし方の情報収集が出来ていない、スタッフ入社前の情報が把握できていない
---------	---

次回までの具体的な改善計画	生活歴や既往歴など職員個人の時間で各ご利用者様の情報を閲覧しかくにんしていただくこと。 また、情報収集の意識を持ち情報を伝達していくこと。 日々の変化や気づいた事は申し送り、全体会議等にて情報共有に記録していくこと。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年10月27日～10月31日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 堀（管理者）庄司（副リーダー）寺下（看護）後藤（計画）
武田、菅原、渡部、下川原、大島、別所、加藤 合計11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	人	4人	7人	人	11人

前回の改善計画	本人の生活歴や人間関係を途絶えることの無いように、職員は事業所会議などで情報の共有に努める。家族や地域の皆様からの声をくみ上げるよう面会時の聞き取りや事業所催し、運営推進会議内で意見交換をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		6人	5人		11人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1人	4人	6人		11人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		4人	6人	1人	11人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		1人	9人	1人	11人

できている点	地域行事への参加や誕生会を行うことにより、地域、家族とのつながりが継続できるようにしている 定期的にご家族様と連絡を取り様子を聞いている 日々の生活やいつもと違った時には家族様へ電話連絡している、 職員同志、会議はミーティングにおいて情報の共有に努めている。
--------	--

できていない点	事業所内については共有できているが、在宅での生活スタイルまでは把握されていない。（理由）情報不足 ご家族様とのやり取り時言葉の行き違いがトラブルや誤解されてしまうことがある。 （理由）相手の辛い気持ち汲み取れていない 管理者、リーダー等に任せきりにしてしまいできていない 民生委員や地域の資源までは知識不足で理解できていない
---------	--

次回までの具体的な改善計画	事業所の行事や誕生会などにご家族様をお誘いし家族とのつながりを継続できるよう努めていく。 地域行事の参加や運営推進会議にて地域の方々と関わりをもつ場を提供していく。 家族面会時や運営推進会議等で聞き取りや意見交換をしていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年10月27日～10月31日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 堀（管理者）庄司（副リーダー）寺下（看護）後藤（計画）武田、菅原、渡部、下川原、大島、別所、加藤 合計11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	3人	8人	人	人	11人

前回の改善計画	本人のニーズに気がつく事ができるよう日々の関わりの中で利用者本位の支援を心がける。日々の支援の内容やニーズに対してどのように対応したのか記録に残し、他職員との共有情報とする。
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		8人	2人	1人	11人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3人	6人	2人		11人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	2人	8人	1人		11人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	1人	8人	2人		11人

できている点	ご利用者様、ご家族様の状況に応じ、通い、宿泊、訪問の支援が都度話し合いながら行えている。朝のミーティングにおいてご利用者様の状況把握を行っている。ドライブなどして気分転換、地域の囲碁活動に参加されている。地域との交流が出来ていると思う利用者の方の思いを汲み取れるような声かけ、アンケートなど行っている。毎朝の申し送りでその都度変化など共有するよう努めている。本人様のニーズに応える様心がけ、最善な介助を心がける。
--------	--

できていない点	地域活動が限られた人達だけ行っている。申し送りをしても記録が共有できていない事が多い（理由）自分たちの業務に追われ記録の共有までできていない。記録の落とし忘れがある（理由）業務の間に記録を書くので漏れがでてしまう。皆で協力し合えば減ると思う。地域の資源を活用できていない。通い時入浴支援が出来ない時がある（理由）利用者の状態によってできない時がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	特定した職員だけでなく記録はその都度対応したスタッフが記入するように心がけ記入漏れがなくしていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年10月27日～10月31日

6. 連携・協働

メンバー 堀（管理者）庄司（副リーダー）寺下（看護）後藤（計画）
武田、菅原、渡部、下川原、大島、別所、加藤 合計11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	1人	2人	7人	1人	11人

前回の改善計画	事業所に所属する職員が特定されて関わる状況を、情報の共有や実際に地域活動の参加や研修会の参加など職員交互に参加できるように配慮する。 職員は事業所に感心を持って頂けるような取組みや地域の相談も受け入れられる準備をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1人	3人	4人	3人	11人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1人	1人	6人	3人	11人
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1人	2人	6人	2人	11人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1人	1人	8人	1人	11人

できている点	必要に応じ医療機関、福祉用具等の方と打ち合わせを行えている。
--------	--------------------------------

できていない点	管理者に任せきりでできていない 会議や研修が特定の人、いつも同じ人ばかりとなっている（理由）参加できるよう促していない。 地域との関わりが少ない
---------	--

次回までの具体的な改善計画	会議や研修などは内容に応じてみんなが参加出来る様に促していく。 職員は積極的に会議・研修・地域行事に参加出来るようにし、地域との関わりを持てるように努める。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年10月27日～10月31日

7. 運営

メンバー 堀（管理者）庄司（副リーダー）寺下（看護）後藤（計画）
武田、菅原、渡部、下川原、大島、別所、加藤 合計11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	人	8人	3人	人	11人

前回の改善計画	職員の経験値や役職に捉われず、職員として感じた意見は全体会議などで表出し事業所の運営に反映する。地域の皆様からの声やご家族様からの要望、苦情は日々の運営に活かせるよう専用の書式に記載し情報共有を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？	1人	5人	5人		11人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1人	9人	1人		11人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1人	7人	3人		11人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1人	5人	4人	1人	11人

できている点	会議の場で職員同士の話し合いができている。会議などスタッフの意見を出せるような場を設けている 意見や苦情は時間をかけてでも対応している。 研修会、個別面談の時等に話すことができます。 苦情を頂いた場合、2度目はないよう注意、心がける様になっている 利用者様やご家族様の意見や苦情をミーティングなどで共有し反映できるよう努めている
--------	--

できていない点	意見を言う職員が決まっている。（理由）皆遠慮しているのか言いにくい空気を作っているような気がする。 意見が特定のスタッフのみになっていることがある。 自分の意見を発言をすることが出来ていない（理由）自分の立場をかんがえてしまい、なかなか発言できていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	職員が会議等で率直な意見がだせるようにし事業所の運営に反映できるよう努める。 地域の皆様からの声やご家族からの要望、苦情は日々の運営に活かせるように情報共有を迅速に行う。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年10月27日～10月31日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 堀（管理者）庄司（副リーダー）寺下（看護）後藤（計画）
武田、菅原、渡部、下川原、大島、別所、加藤 合計11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	1人	8人	1人	1人	11人

前回の改善計画
研修の参加について偏りなく全体に行き届く配慮を事業所内で調整を行う。 事故報告、ヒヤリハット報告の事業所内情報として共有し再発、リスク管理を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1人	5人	5人		11人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		5人	5人	1人	11人
③ 地域連絡会に参加していますか		2人	5人	4人	11人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	1人	6人	3人	1人	11人

できている点
研修に参加するようにしている 研修には都合がつかぎり参加している 都度ヒヤリハットを共有し再発防止に努めている 事故報告、ヒヤリハットの報告書は書いているが振り返りがない ヒヤリ等報告書共有できている 研修等に参加し事業所内でリスクの情報共有を行い再発に努めている

できていない点
特定のスタッフのみの研修となってしまう 研修参加者はいつも同じような人が多い（理由）参加を促していない 職場内研修を実施しているも参加できていない

次回までの具体的な改善計画
管理者・リーダーは職員交互に参加してもらえるように検討し、職員が積極的に参加出来る様に促す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年10月27日～10月31日

9. 人権・プライバシー

メンバー 堀（管理者） 庄司（副リーダー） 寺下（看護） 後藤（計画）
武田、菅原、渡部、下川原、大島、別所、加藤 合計11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	2人	7人	2人	人	11人

前回の改善計画	日々の関わりの中で身体拘束、虐待、プライバシーの配慮などについて全体会議など定期的に情報交換の場をもつ。管理者、リーダー職は個人情報を含め利用契約時の内容を全職員が把握できるよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 身体拘束をしていない	6人	5人			11人
② 虐待は行われていない	8人	3人			11人
③ プライバシーが守られている	5人	6人			11人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	2人	9人			11人
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	3人	8人			11人

できている点	拘束はその方に危険が及ぶ恐れがある時のみご家族の承諾を得た状態でのみ行うやむを得ず身体拘束となる時は事前に書類にてご家族へ説明を行っている。同意書を頂き3か月見直ししている プライバシーについても会議やミーティングを通じ情報共有している 拘束等はしていない 全体会議が開かれてその都度話し合いの場が持たれている 身体拘束、虐待、守秘義務を守り努める事ができている
--------	---

できていない点	全体的に個人情報・ケアプランを把握していない（理由）読み込む時間がとれない パーテーション宿泊での着替えにプライバシーがやや欠けているように思う（理由）空き室が無い状況が続いている時。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	日々の関わりや支援方法でプライバシーがまもられているのか会議や申し送り等で話し合いの場を持つようにする。
---------------	--